



事務連絡  
令和7年8月12日

一般社団法人名古屋市医師会 御中

名古屋市健康福祉局健康部感染症対策課

子宮頸がん予防接種定期接種最終年度者に対する事業周知資料  
について

日ごろは、本市の予防接種行政にご協力をいただきまして、誠にありがとうございます。

さて、このたび、別添のとおり予防接種勧奨用ハガキを、下記のとおり送付いたします。

つきましては、各医療機関におかれましては、ご承知おきいただきたく存じますので、貴会におかれましては、下記の内容について各医療機関への周知をお願いいたします。

記

1 送付対象者

子宮頸がんワクチンの接種を完了していない方のうち、以下のすべてを満たす方

- ・令和7年6月1日時点で名古屋市に住民登録がある方
- ・平成21年度生まれの女性

2 送付人数

6, 344名

3 送付時期

令和7年8月下旬（20～25日頃目安）



予防接種担当  
電話：972-3969



見本

名古屋市からのお知らせ

# 子宮頸がんワクチンの接種期間等について

自費で接種する場合、最大約9万円必要です。

※必ず中面をご確認ください！

(差出人)

名古屋市役所健康福祉局感染症対策課

〒460-8508

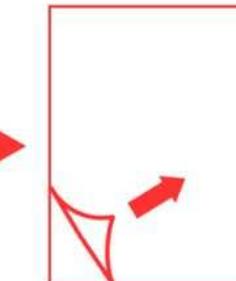
名古屋市中区三の丸三丁目1番1号

電話 052-972-3379



●ご案内は内側にあります。裏面の開封方法をご覧ください。  
(水にぬれた場合は、かわかしてからはがしてください。)

## 開封方法



ここよりはがしてください。



高校1年生相当

# 2025年4月1日時点で15歳の女の子と保護者の方へ

公費による接種を希望する方は

**9月末までに接種を開始すると  
3月末までに3回の接種を完了できます。**

まずは子宮頸がんとHPVワクチンについて知ってください。

**HPVワクチン接種は合計3回です。**

※シルガード®9を15歳未満で接種開始した場合、接種間隔によっては計2回の接種で接種完了となる場合があります。

● 標準的な接種スケジュールについて

シルガード®9またはガーダシル®

サーバリックス®



※1・2 2回目と3回目の接種がそれぞれ1回目の2か月後と6か月後にできない場合、2回目は1回目から1か月以上(※1)、3回目は2回目から3か月以上(※2)あけます。

※3・4 2回目と3回目の接種がそれぞれ1回目の1か月後と6か月後にできない場合、2回目は1回目から1か月以上(※3)、3回目は1回目から5か月以上、2回目から2か月半以上(※4)あけます。

公費の補助がない場合の接種費用は、サーバリックス®およびガーダシル®では3回接種で4~5万円、シルガード®9では3回接種で8~9万円です。

ご注意 1回目の接種と2回目の接種には少なくとも1か月以上、シルガード®9またはガーダシル®の場合、2回目の接種と3回目の接種には3か月以上、サーバリックス®の場合には2.5か月以上の間隔をあける必要があります。接種間隔を十分にあけない接種は定期接種の対象とはならないため、公費の補助はありません。

対象者や制度の概要など詳しくは  
こちらをご確認ください



## ワクチンについて



すべてのワクチンの接種には、効果とリスクとがあります。まずは、子宮頸がんとHPVワクチンについて知ってください。周りの人とお話ししてみたり、かかりつけ医などに相談することもできます。

子宮頸がん予防接種について詳しく知りたい場合、厚生労働省「HPVワクチンについて知ってください＜詳細版＞」や名古屋市ウェブサイトの「子宮頸がん予防接種の大切なお知らせ」をご確認ください。

### HPVワクチンについて知ってください

<詳細版>

厚生労働省  
詳細版



持ち物  
接種時の

1 シール式  
接種券

よくある質問

Q.シール式接種券が手元にありません。接種できますか？

A.原則シール式接種券を持参しての接種をお願いしております。

右側の再発行申請フォーム(二次元コード)より、申請をお願いします。

発送には2~3週間かかります。お早目に申請してください。

指定医療機関検索は  
こちらから！



その他ご不明な点やご相談がある場合は、名古屋市子宮頸がん予防接種電話相談窓口（TEL:052-972-3379）にご連絡ください。

